

Antiphospholipid Antibodies in Patients with Cutaneous Polyarteritis Nodosa and Livedo Vasculopathy: An Initial Report

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2014-11-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 若林, 奈津子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/30818

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2819 号	氏 名	若林 奈津子
審 査 委 員 会	主 査 教 授	川島 眞	
<p>論文審査の要旨 (400 字以内)</p> <p>本論文では、下肢にリベド (網状皮斑) を呈する疾患である皮膚型結節性多発動脈炎とリベド血管症において、抗リン脂質抗体の一つである抗ホスファチジルセリン・プロトロンビン複合体 IgM 抗体が健常対照群に比較して、高率に陽性を示す傾向を見出し、本抗体が両疾患の発症に関与している可能性を明らかにしている。そして、リベド血管症で見られる血栓形成が先行し、血管内皮障害を来して皮膚型結節性多発動脈炎に進展すると推察している。また、全身型結節性多発動脈炎では抗リン脂質抗体の関与はこれまで示されていないことから、本疾患と皮膚型結節性多発動脈炎とリベド血管症との関連性は低いと考察している。リベドという類似した臨床像を呈する疾患の異同について新たな知見を見出した点で、臨床的に高く評価できる論文である。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			